

峰工会について

宇都宮大学農学部農業環境工学科同窓会（通称：峰工会）

「峰工会(ほうこうかい)」とは、農学部全体の「峰ヶ丘同窓会」とは別に、農業環境工学科単独で組織された同窓会です。

「農業環境工学科」の前身は、1941(昭和 16)年に設置された宇都宮高等農林学校「農業土木学科」までさかのぼることができます。その後、2年間の宇都宮農業専門学校時代を経て、1949(昭和 24)年に宇都宮大学「農業工学科」となり、さらに 1966(昭和 41)年に「農業開発工学科」に組織再編、1991(平成 3)年には「農業環境工学」と名称を変更して現在にいたっています。この間、戦後の食糧難解決に向けた農地開発・改良、農業生産の効率化や豊かな農村づくりなどの分野の第一線で活躍する多くの人材を全国に輩出してきました。そうした同窓生の集まり「峰土会(ほうどかい)」が、40 年ほど前に、農業土木学科時代と農業工学科初期の卒業生によってつくられました。それ以来、峰土会は新たな卒業生を加えて発展してきましたが、学科名が現在の農業環境工学科に変わったのを契機に、1995(平成 7)年、学科同窓会も新名称「峰工会」のもとに衣替えしました。

峰工会の現会員数は、2016 年 3 月 31 日現在、2302 名を数えます。北海道から沖縄まで、ほぼ全国を網羅して、各県またはブロックごとに支部が組織され、これが活動の基礎単位となっています。在学中の学生は準会員として大学支部に所属し、卒業後は正会員として各支部に所属することになります。各支部では先輩たちが、その県出身の卒業生はもちろんのこと、他県出身ながらそこに就職してくる後輩の入会を心待ちにしています。社会の様々な側面において、同窓の絆は予想以上に深く重要なものです。とくに就職活動などでは、実に大きな力になってくれます。

峰工会の運営は同窓生が納める会費によって成り立っています。よって、新入生には 3 万円を入学時（4 月末まで）に一括納入し、終身会員資格を得ることをお願いしています。

(郵便振替：00330-1-15131 加入者名：宇都宮大学農学部農業環境工学科同窓会)